

教育推進部教育指導課

## 令和元年度学校評価の報告について

- 学校評価は、「学校運営の改善を目指し、教育水準の向上を図る」ことを目的とし、各学校園が、自校(園)の教育活動その他の学校運営の状況について、以下のとおり評価を行い、その結果に基づき必要な措置を講ずることが、平成19年改正された学校教育法、同法施行規則に示されている。
  - ①教職員による自己評価を行い、その結果を公表すること
  - ②学校の自己評価について保護者などの学校の関係者による評価（「学校関係者評価」）を行うとともにその結果を公表するよう努めること
  - ③自己評価の結果・学校関係者評価の結果を設置者に報告すること
  
- 文京区教育委員会では、法改正に基づき平成20年度より学校評価を実施している。平成21年4月に「文京区立学校関係者評価委員会設置要綱」を定め、「学校関係者評価委員会」を組織して、学校関係者評価を実施することとした。平成22年度には、各学校からの学校評価報告とともに、区全体の状況を把握するための参考として、学校関係者評価に区共通項目を策定した。
  
- ここに、令和元年度学校評価の集計結果を示すとともに、学校支援の具体的な手立てを講じて、教育施策の実行状況や進展状況を把握する資料とする。

## 別紙1 令和元年度学校関係者評価共通項目（集計結果）

(園)

幼稚園		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.90	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.88	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんと行われているか）	10	0	0	0	3.81	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	10	0	0	0	3.76	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	10	0	0	0	3.83	A

(校)

小学校		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	20	0	0	0	3.84	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	20	0	0	0	3.85	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんと行われているか）	19	1	0	0	3.72	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	19	1	0	0	3.70	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	19	1	0	0	3.72	A

(校)

中学校		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.89	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	3.87	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんと行われているか）	9	1	0	0	3.60	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	8	2	0	0	3.58	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	9	1	0	0	3.80	A

※各関係者評価委員が4段階で評価した学校(園)の平均値を下記の基準をもとにABCDの4段階で評定したもの。

(A: 4~3.4以上、B: 3.4未満~2.6以上、C: 2.6未満~1.8以上、D: 1.8未満)

別紙2 令和元年度 保護者アンケート(区共通項目)集計結果

質問項目	幼稚園					
	とてもあてはまる(%)	まああてはまる(%)	あまりあてはまらない(%)	まったくあてはまらない(%)	わからない・無回答(%)	
1 本校(園)の教育活動に満足している。	62.4%	34.2%	2.2%	0.2%	1.0%	
2 本校(園)の子どもたちは、学校が楽しいと感じている。	76.0%	22.1%	0.9%	0.1%	0.9%	
3 本校(園)では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。	64.7%	30.8%	2.3%	0.4%	1.8%	
4 本校(園)は、特色ある学校(園)づくりに積極的に取り組んでいる。	59.2%	32.9%	5.1%	0.2%	2.6%	
5 本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。【小・中学校】						
6 本校(園)は、一人一人の幼児理解に努め、適切な保育に努めている。【幼稚園】	63.4%	33.2%	2.0%	0.2%	1.2%	
7 本校は、学校生活で起きた問題(いじめ等)に対して、素早く適切に対応している。	49.9%	29.9%	4.1%	0.6%	15.5%	
8 本校(園)では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。	64.0%	30.9%	2.6%	0.8%	1.8%	
9 本校(園)は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。	57.4%	35.4%	4.9%	0.6%	1.7%	
10 本校(園)は、保護者の意見・要望を受け止めながら、協力して教育を進めようとしている。	52.5%	37.3%	4.1%	0.9%	5.2%	
11 来校時や電話での本校(園)の教職員の学校職員のあいさつや対応は、適切である。	78.7%	19.6%	1.4%	0.1%	0.2%	
現在の本園に総合的に満足している。(幼稚園のみ)	68.9%	28.3%	1.8%	0.1%	0.9%	

質問項目	小学校					
	とてもあてはまる(%)	まああてはまる(%)	あまりあてはまらない(%)	まったくあてはまらない(%)	わからない・無回答(%)	
1 本校(校)の教育活動に満足している。	44.8%	49.2%	3.6%	0.8%	1.6%	
2 本校(校)の子どもたちは、学校が楽しいと感じている。	50.3%	42.4%	4.4%	0.9%	2.0%	
3 本校(校)では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。	40.0%	48.2%	5.4%	1.1%	5.3%	
4 本校(校)は、特色ある学校(園)づくりに積極的に取り組んでいる。	46.8%	42.3%	6.1%	0.5%	4.3%	
5 本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。【小・中学校】	41.8%	50.1%	3.4%	0.5%	4.2%	
6 本校(校)は、一人一人の幼児理解に努め、適切な保育に努めている。【幼稚園】						
7 本校は、学校生活で起きた問題(いじめ等)に対して、素早く適切に対応している。	31.1%	39.3%	7.2%	1.6%	20.8%	
8 本校(校)では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。	44.2%	45.6%	4.0%	0.8%	5.4%	
9 本校(校)は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。	44.1%	44.9%	6.6%	0.9%	3.5%	
10 本校(校)は、保護者の意見・要望を受け止めながら、協力して教育を進めようとしている。	38.0%	46.9%	5.8%	1.1%	8.2%	
11 来校時や電話での本校(校)の教職員の学校職員のあいさつや対応は、適切である。	65.1%	31.8%	1.7%	0.5%	1.1%	
現在の本校に総合的に満足している。(小学校のみ)						

質問項目	中学校					
	とてもあてはまる(%)	まああてはまる(%)	あまりあてはまらない(%)	まったくあてはまらない(%)	わからない・無回答(%)	
1 本校(校)の教育活動に満足している。	31.1%	57.5%	7.3%	1.5%	2.6%	
2 本校(校)の子どもたちは、学校が楽しいと感じている。	32.7%	54.1%	6.7%	1.5%	5.0%	
3 本校(校)では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。	28.7%	52.8%	8.2%	2.2%	8.1%	
4 本校(校)は、特色ある学校(園)づくりに積極的に取り組んでいる。	25.4%	47.7%	13.9%	1.8%	11.2%	
5 本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。【小・中学校】	19.0%	52.8%	11.5%	1.9%	15.0%	
6 本校(校)は、一人一人の幼児理解に努め、適切な保育に努めている。【幼稚園】						
7 本校は、学校生活で起きた問題(いじめ等)に対して、素早く適切に対応している。	22.8%	39.0%	7.2%	2.0%	29.0%	
8 本校(校)では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。	32.5%	52.4%	4.6%	0.7%	9.8%	
9 本校(校)は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。	33.3%	51.0%	9.1%	1.1%	5.5%	
10 本校(校)は、保護者の意見・要望を受け止めながら、協力して教育を進めようとしている。	29.1%	48.6%	7.9%	2.1%	12.3%	
11 来校時や電話での本校(校)の教職員の学校職員のあいさつや対応は、適切である。	57.5%	37.4%	3.0%	0.8%	1.3%	
現在の本校に総合的に満足している。(中学校のみ)						

※ 数値は、各学校の平均値

幼稚園	家庭と地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>園外に対して、情報開示をしっかり行おうとするオープンな姿勢であることを感じる。地域や近隣の学校や保育園と連携を取ることで、幼稚園の質を高めようとしていることも評価できる点である。</li> <li>園児のために考えている園の対応がよく分かる。最近、自転車通園の親子が減ってきたように感じる。年長児の保護者の中で、子どもと一緒に歩く残り少ない日々を楽しむために徒歩通園をしているという声もある。</li> </ul>
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校と同じ敷地に幼稚園があることで、幼稚園の様子がよく見える。校庭で遊んでいる子どもたちの顔が楽しそうで安心・安全な幼稚園で過ごしていることがよく分かる。</li> <li>働く保護者が増えてきていることや家族の在り方の多様化などにより、PTA活動のスリム化や預かり保育の充実など、保護者のニーズに合わせ、変えるべきことは変えていくことが必要である。</li> </ul>
	心と体	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園で季節を感じて生活していたことで、小学校に行っても歌を思い出して口ずさんだり、季節の折り紙を折ったりする姿につながっている。</li> <li>幼児が遊びを通して、経験を積んでいることが分かる。教科の学習が始まったとき、このような総合力が必要である。</li> <li>親子体操、コーディネーショントレーニングなど運動遊びの機会を、継続して取り組んでいる。教育内容に関しては保護者が実際に見て感じていると考える。その結果が評価に表れている。</li> </ul>
小学校	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の教育活動について、96%の保護者が、「満足している」と回答している。各教科ごとに「授業改善プラン」を設定し、具体的に取り組んでいる成果であると考えられる。少人数指導、体験的な学習、問題解決的な学習の充実を図るとともに、さらに主体的な学びを深めてほしい。</li> <li>ユニバーサルデザインの視点で、すべての児童に分かりやすい授業を実施したことにより、学力の二極化が解消されてきているようである。自分の考えをもたせ、表現させる授業を取り入れ、自分の考えを伝える力をますます伸ばすことを期待する。</li> </ul>
	豊かな心の育成・人間性・感性	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級、学びの教室拠点校として、子どもたちが「違いのある人と育つ」中で、他者との違いを理解し、自分はどうあるべきかを考える機会をもつことのできる学校の強みを生かして欲しい。</li> <li>昨年の台風の後には毎年お世話になっている岩井の民宿への手紙など、子どもたちが率先して活動するなど大人が何も言わなくても何とかしよう自分たちで考え、行動できることが素晴らしいと思います。先日、道で具合の悪そうにしているお年寄りに子どもの方から「荷物もちましょうか。」と声をかけるなど優しい子に育っていると思います。</li> <li>基本的な生活習慣の確立、特に挨拶の指導が著しい成果をあげている。今年度始まった校長による登下校時の声かけが功を奏しているとみられ、今後も継続して頂きたい。</li> </ul>
	学校組織力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領全面実施に向けて着実に準備を進めてきたことが評価に値する。3年間にわたり、新しい教育の方向の理解を進め、年度ごとの課題を整理し、工程を組むことが無理のない移行につながった。カリキュラム・マネジメントを全教職員が共有したこと、地域・保護者にスケジュールを示したことが見通しをもった教育活動の実践につながった。</li> <li>「先生方の表情が明るくなった」との感想が評価委員会へ出された。わたしも行事等で実際に学校にお邪魔した折りに、教職員間の良好なコミュニケーションの姿を目にすることができた。「チーム学校」での取組が、子どもたちや保護者の満足や安心、信頼につながることを改めて理解した次第である。</li> </ul>
中学校	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査だけでなく、漢検、数検、英検と学習に対する目標をもたせていることで学習の習慣が定着されているように感じる。その成果が生徒へのアンケート項目である「授業のわかりやすさ」の結果に表れていると思われる。</li> <li>少人数の利点を生かし、1クラスをA・Bクラスに分け、少人数での授業、個別指導などきめ細かい指導を行っていると感じる、特に電子黒板を使用することになり先生と生徒が向き合う時間が増えてより身に付く授業になっていると思う。教職員数も少人数ではあるが、勉強ができる生徒、そうではない生徒のそれぞれに合わせ、目配り良く対応してくれていることで、学力を向上させていると思う。</li> </ul>
	豊かな心の育成・人間性・感性	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級との交流及び共同学習を通して生徒同士が個性を認め合い、互いに励まし合っていることや部活に取り組んでいる様子がよく分かる。人権教育や道徳教育に力を入れて頂いていることは評価できますが、教職員（保護者…）の何気ない言動が思春期の生徒の心を傷付けることもあるので、指導の徹底をお願いします。</li> <li>部活動、運動会、学習発表会等、充実している様子が伺える。特別支援教育等に関するアドバンスルームも順調であり、生徒の「個」を大切にされた教育が実現している。</li> <li>道徳教育や人権教育について、年間計画に基づき適切な内容で実施しておりおおむね良好であるが、特に人権教育に関して具体的な指導内容が伝わっていないのではないか。いじめの発生については保護者や地域が承知しているのだから、それに対する予防も含め学校だけでなくその取組を紹介すべきであろう。</li> </ul>
	信頼される学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>約6割強の生徒が地域行事にボランティアで参加している。行事や土曜公開でも多くの見学をいただいで好意的な評価をいただいている。保護者・地域からの信頼が得られていると考える。過去の関係者の数々の努力が入学希望者数に結実したといえる。</li> <li>先生方がある程度余裕がないと回らないのではないかと考える。以前から中学校の先生の労働時間の長さは問題視されている。部活動指導をアウトソーシングする等、子どもたちの教育を充実させることを置き去りにせず、学校教育をより良くしていくための「文の京」としての取組を是非実施してほしいと思う。</li> </ul>